

実習科目	基礎 地域・在宅 成人 老年 小児 母性 精神 統合 (○で囲む)		
実習場所	施設名	△△法人◇◇会 ○○○○○病院	
	部署名	東4病棟	
実習月日	20XX年 12月 22日	学籍番号 ○○○○○	氏名 穴吹 花子
①実習目標	目標1. 褥瘡のある患者への援助場面を見学し、個別性のある看護を学ぶ。		
	目標2. フィジカルアセスメントの場面を見学し、健康状態をアセスメントする。		
②見学した 場面・対象の 背景	目標1: 褥瘡のケア		
	目標2: 脳梗塞発症7日目の患者のフィジカルアセスメント		
	その他: 全身清拭、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換		
	対象の背景		
	目標1: A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。		
	るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。		
③看護師の 援助の実際と 根拠／対象の 反応とデータ	目標1: 褥瘡の処置と予防		
	褥瘡処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイトADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝え、軽くうなずいていた。		
	〔援助の根拠〕		
④本日の実習 での学び (実習目標に そって記載)	目標1:		

1. 事前学習

【演習用】

2. 記録用紙表面に記載できなかった内容を記録する。

- ・実習目標以外に実習を通して学んだこと

3. 今後の学習課題

	項目	内 容	学生自己 評価 (A-D)	指導者評価 (該当欄に○)			
				A	B	C	D
評価	学習内容	1) 学びたいことを明確にし、実習に臨むことができる					
		2) 既習知識を生かし、見学した看護について根拠を持って考えることができる					
		3) 健康障害や身体変化が対象に及ぼす影響について考察した内容を記述できる。(統合実習の場合は看護管理・医療安全)					
		4) 実習の学びを明確に述べるができる					
		5) 自己を振り返り、今後の看護に生かす方法を明確にしている					
	学習態度	6) 敬語、丁寧語を正確に使い、相手を尊重したコミュニケーションがとれる					
		7) 清潔感のある身だしなみをしている					
		8) 積極的に学習行動をとることができる					
		9) 指導者・スタッフに積極的に助言を求めたり、質問できる					
		10) 時間厳守で行動できる					

<コメント>

指導者氏名

年 月 日